

己の欲せざる所は人に施すこと勿れ

簡単に言うと、自分がされて嫌なことは他人にしてはならない、という意味になります。自分がされて嫌なことは、ほかの人にしてはならない。当たり前のことですね。でも、本当に他の人が嫌がるのがわかるのでしょうか。自分は気にしないけど相手はものすごく気になり傷つくこと、そんなことはないでしょうか。この言葉は、単に自分の気にすること、しないこと、そこにこだわるのではなく、相手はどう思うだろうか、また自分のしたことがこのあと、どうなるだろうか。そう考えブレーキをかけて行くこと。より深く相手を思いやることを願う言葉であると、私は思います。小学校から中学校へと進んだ皆さん。時折、喧嘩をしたり、いらいらした気持ちをぶつけてしまったり。トラブルが発生することがあると思います。どうか、そういう失敗を恐れなくてください。トラブルや問題が起きた時に、また、起きそうなときに相手のことを思いやる気持ちを忘れず、どうしたら良いか迷ってください。そういうことこそが大切な学びです。

小学校でしっかりいろいろなことに取り組んできた皆さんにとって、中学校はどのように見えるのでしょうか。少し大人になった気分もある一方で、また1年生に逆戻りと言った思いもあるかもしれません。大きく変わることは学校に通う時、集団登校でなくなることでしょう。自分の中学校での活動に合わせて、自由に、そして安全に学校へ来てください。学校に来るときに一つお願いがあります。学校に来る途中、例えば小学生が困っていたりしたときや、なにか気になることがあったとき、そのことを大人に伝えてください。中学生になった皆さんはもはや、ただ見守られるだけの存在ではありません。皆さんもいずれ大人になる身として見守る身になってほしいのです。皆さんの目を加えた北辰中学校の地域はさらに多くの人たちにとって安全安心な街になることでしょう。

本日ご臨席いただきました来賓の皆さま。公務ご多用のところ、入学に際し励ましをいただき誠にありがとうございます。地域の子どもたちの育成に今後とも特段のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。校長先生はじめ教職員の皆さま。日ごろからの献身的なご指導に心からお礼申し上げます。確かな学力、未来を拓く力を身につけ、いずれ社会で生きるため、更なる支援をお願いします。PTAとしましても手を携え、ともに力を尽くしてまいります。

保護者の皆さま。本日はご入学おめでとうありがとうございます。同じ親として感動をともにし、心からのお祝いを申し上げます。PTAは任意でご参加いただく社会教育団体です。学校が子供たちのよりよい成長の場となるよう、ともに手を携えて参りましょう。

これから、中学校生活が始まる1年生の皆さん、そして2・3年生の皆さんにとっても新たな日々の始まりです。皆さんにとってこの1日1日がより良き学びの日であることを願い、入学式に当たってのお祝いの言葉とします。

平成31年4月8日

北辰中学校PTA会長 宮本 健司